

## 行政情報システムクラウド研究会の開催

### 趣 旨

行政の情報化における最近のテーマは、AI、IoT、クラウド、データ利活用、オープンデータなど広範囲にわたっているが、ここには技術課題と社会問題への対応課題の両面が存在する。従来から行政情報システムは行政事務の効率化を目的とする行政情報化と、市民サービスの向上に向けた地域情報化の二つの領域があるが、現在もこの基本的な考えには変わりはない。行政の情報担当者はこの両領域に対応していく必要がある。これらのテーマのうちクラウド技術の導入は行政事務の効率化のみでは無く、システム運用コストの削減に寄与する効果的な手段であるとともに、市民サービスの向上にも有効な手段であると言われているが、行財政改革が求められる環境の中で最優先に採り上げるべきテーマであると考えられる。現在、政府はクラウド化への政策展開を積極的に推し進めており、平成 29 年 11 月の「地方公共団体におけるクラウド導入に係るロードマップの公表とクラウド導入等に関する計画の策定について」はその姿勢を強く反映したものである。

クラウド化にあたっては、基盤技術、仮想化技術、ネットワーク技術、セキュリティ技術、DC（データセンター）選択・回線など様々な課題検討に加え、個人情報保護、業務継続性、業務運用の方法など制度や業務運営面での課題も検討する必要がある。

総務省は全自治体に対するクラウド化（自治体クラウド）を重要テーマとして推進しているが、それがスムーズに進展していないのも事実であり、特に中核市を対象とする共同化は技術課題に加え、組織間の調整が大きな壁となっていることは否めない。

本研究会は情報化推進の現状を情報共有し、自治体クラウドに対する課題解決と、中核市など比較的大きな自治体の共同化の可能性の方策について議論し、行政情報システムの抱える課題解決と高度化に寄与することを目的とするものである。

### 研究会の内容

- ・行政情報システムに対する課題（メンバーの情報共有）
- ・クラウド化に対する評価
- ・ハウジングとホスティングの評価／IaaS、PaaS、SaaS の技術的課題
- ・自治体クラウドの実態把握／クラウド実施団体や検討団体とのヒヤリング
- ・共同利用に向けての可能性と課題 等

### 研究会メンバーと事務局

- ・関西の地方自治体（公募方式：別紙「参加申し込み」書をお送りください）
- ・メンバーの推薦する学識経験者
- ・事務局は NPO 法人情報化連携推進機構が担当し 2 か月に 1 回程度の開催

以 上